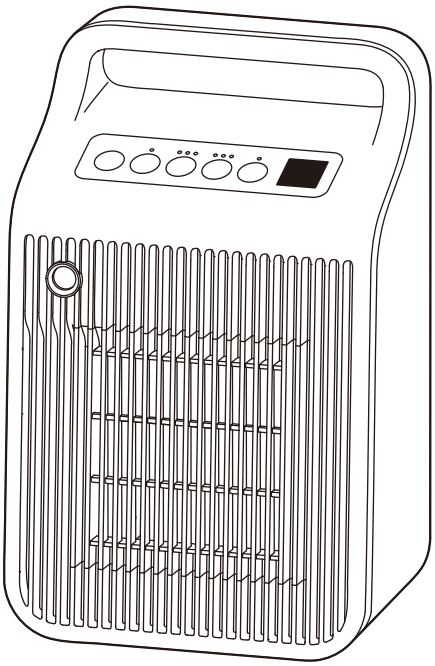
YAMAZEN

取扱説明書・保証書

●業務用として使用しないでください。
●他の用途で使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

脱衣所温風
セラミックファンヒーター
RSF-VE12



もくじ

▌安全上の注意……1〜4
▌各部の名称……5
▌知っておいていただきたいこと……6
▌使いかた
●設置する……7
●電源プラグを家庭用コンセントに差し込む……8
●運転する……8〜9
●運転を切り換える……10
●切タイマーを設定する……10
●人感センサー運転を設定する……11〜12
●温度センサー運転を設定する……13〜14
●使用後は……14
●エラー表示と安全装置について……15
▌お手入れと保管……16〜18
▌仕様……19
▌故障かな?と思ったら……19〜20
▌点検のお願い……21
▌アフターサービスについて……21
▌MEMO……22
▌保証書……裏表紙

この製品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

●このたびは、弊社セラミックファンヒーターをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
●使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
●読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ
YAMAZEN BOOK を チェック!
随時情報を更新中!

安全上の注意

使用する前に「安全上の注意」をよく読み、必ず守ってください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用する人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


⃠記号は、禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。


❗記号は、強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは、使用する人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。

⚠ 警告

■ 電源コード・電源プラグについて



電源プラグは、根元まで確実に真っ直ぐ差し込む

- ●発熱・感電・火災の原因になります。
- ◎斜めに差し込まない。



定期的に電源プラグのホコリをふき取る

- ●電源プラグにホコリがたまると、湿気によって絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。
- ◎電源プラグのホコリは、乾いたふきんでふき取る。



破損、故障、異常があったり、電源コードや電源プラグが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

- ●やけど・感電・火災の原因になります。

※故障・異常例

21ページの「点検のお願い　こんな症状はありませんか?」を参照して異常があるときは、直ちに使用を中止する。必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検や修理を依頼してください。



電源コードの上に、本体や物をのせたり、挟み込まない

- ●ショート・感電・火災の原因になります。



家庭用コンセント（AC 100V、定格15A以上）を単独で使用する

- ●家庭用コンセント（AC100V）以外で使用すると、誤作動・故障の原因になります。
- ●コンセントや配線器具の定格を超える使いかた（タコ足配線など）をすると、異常発熱・火災の原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んでいたり、差し込みがゆるいときは、使用しない

- ●ショート・感電・火災の原因になります。



電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねて使用しない

- ●ショート・感電・火災の原因になります。
- ◎使用するときは、必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす。



長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

- ●感電・漏電火災の原因になります。

⚠警告

■ 設置について

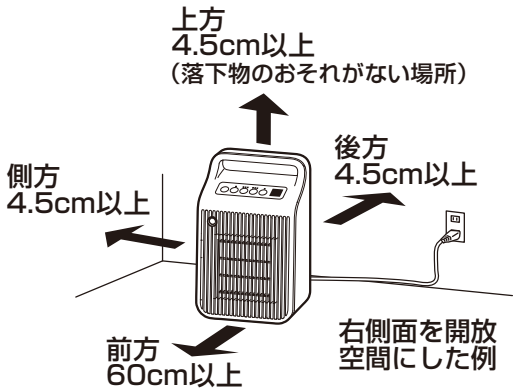
指示に従う

壁や家具から離して設置する

●火災の原因になります。

◎下記の距離を離して設置する。

消防法による設置基準



◎左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にする。

◎壁や家具に温風を直接あてない。

禁止

可燃性ガスや引火性の物（ガソリンやシンナーなど）がある場所に設置したり、本体の近くにスプレー缶（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を置かない

●爆発・火災の原因になります。

禁止

周囲が囲まれた場所に設置しない

●変形・やけど・火災の原因になります。

禁止

不安定な場所や毛足の長い敷物の上に設置しない

●落下や転倒して、やけど・火災の原因になります。

◎安定した水平な場所に設置する。

禁止

燃えやすい物（布団、カーテン、新聞紙など）や熱に弱い物が周辺にある場所に設置したり、熱に弱い床材や敷物の上に設置しない

●変色・変形・火災の原因になります。

◎燃えやすい物や熱に弱い物に温風を直接あてない。

水ぬれ禁止

水、蒸気、湯気が本体にかかる場所や水にぬれた場所に設置しない

●ショート・感電・火災の原因になります。

禁止

屋外に設置しない

●ショート・感電・火災の原因になります。

■ 使用について

分解禁止

分解、修理、改造をしない

●やけど・感電・火災の原因になります。

※修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。

禁止

すき間、開口部、温風吹出口、吸気口に、異物や金属物を入れない

●ショート・感電・火災の原因になります。

指示に従う

必ず吸気フィルターとフィルターカバーを取り付けて使用する

●ホコリが内部に吸い込まれ、故障・火災の原因になります。

禁止

子供や取り扱いに不慣れな方だけで使用しない

乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない

●けが・やけどの原因になります。

禁止

暖房以外の用途に使用しない

●火災の原因になります。

禁止

フィルターカバー、吸気口、温風吹出口をふさがない

●変形したり、過負荷による故障・火災の原因になります。

⚠警告

■ 使用について　つづき

禁止
本体に衣類や布団をかぶせて使用しない
●変形・故障・火災の原因になります。

禁止
長時間同じ場所を暖めない
●低温やけどの原因になります。
◎皮膚の弱い方は、特に注意する。

禁止
就寝中は、使用しない
●やけど・火災の原因になります。

接触禁止
使用中や使用後しばらくは、温風吹出口に手や顔を近づけたり、触れない
●やけどの原因になります。
◎特に乳幼児には、触らせないように注意する。

指示に従う
持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、温風吹出口が十分冷めてからおこなう
●やけど・ショート・感電の原因になります。
◎十分冷めるまで持ち運ばない。

■ お手入れ・保管について


プラグを抜く
お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
●やけど・ショート・感電の原因になります。

指示に従う
お手入れのときは、温風吹出口が十分冷めてからおこなう
●やけどの原因になります。


水ぬれ禁止
本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない
●ショート・感電・火災の原因になります。

指示に従う
包装用ポリ袋は、子供の手の届かない場所に保管する
●誤って顔にかぶったり、巻きついたりして、窒息する原因になります。


ぬれ手禁止
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
●ショート・感電の原因になります。

指示に従う
吸気フィルターのお手入れは、定期的におこなう
●故障・火災の原因になります。
◎お手入れをおこなわずに使用をつづけると、吸気フィルターに付着したホコリが内部に吸い込まれ、火災の原因になるため1週間に1回程度は、お手入れをする。

禁止
各種スプレー（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を吹きつけない
●本体内部にガスが滞留して、爆発・火災の原因になります。
●変色・変質・破損の原因になります。

⚠注意

■ 電源コード・電源プラグについて

禁止
電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない
●ショート・感電・火災の原因になります。
◎電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って、真っ直ぐ抜く。

禁止
電源コードを持って本体を引っ張らない
●設置場所が傷ついたり、ショート・感電・火災の原因になります。

指示に従う
電源コードを引っかけないように注意する
●落下や転倒して、故障・けが・やけどの原因になります。

⚠注意

■ 設置について

禁止

油、油煙、金属粉が発生する場所（厨房や工場）やホコリの多い場所に設置しない

●変質・変形・感電・火災の原因になります。

禁止

テレビやオーディオ機器の近くに設置しない

●機器に雑音が入る原因になります。

禁止

火気や熱源（コンロや暖房器具など）の近くに設置しない

●変質・変形・火災の原因になります。

禁止

直射日光があたる場所に設置しない

●直射日光があたる場所に設置すると、人感センサーが誤感知したり、変色・変形の原因になります。

■ 使用について

禁止

業務用に使用しない

●無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。

禁止

落としたり、強い衝撃を与えない

●破損・故障・けがの原因になります。

指示に従う

持ち運ぶときは、取っ手を持って本体底部を支える

●落下して、破損・故障・けがの原因になります。

指示に従う

はじめて使用するときは、十分換気をする

●はじめて使用するときは、においや煙が出ることがありますが、故障や異常ではありません。

※においや煙は、使用にともない出なくなりますが、においや煙が出たときは換気扇を回したり、窓を開けて十分換気をおこなってください。

指示に従う

動物（犬や猫など）がいる部屋で使用するときは、十分注意する

●本体や電源コードを傷め、故障・感電・火災の原因になります。

◎動物（犬や猫など）の暖房に使用しない。

■ お手入れ・保管について

禁止

お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面を使用しない

●傷・変質・破損の原因になります。

◎お手入れは、16～18ページの「お手入れと保管」を参照する。

禁止

吸気フィルターを熱湯で洗ったり、直火にあてて乾かさない

●変形・変質・火が燃えうつる原因になります。

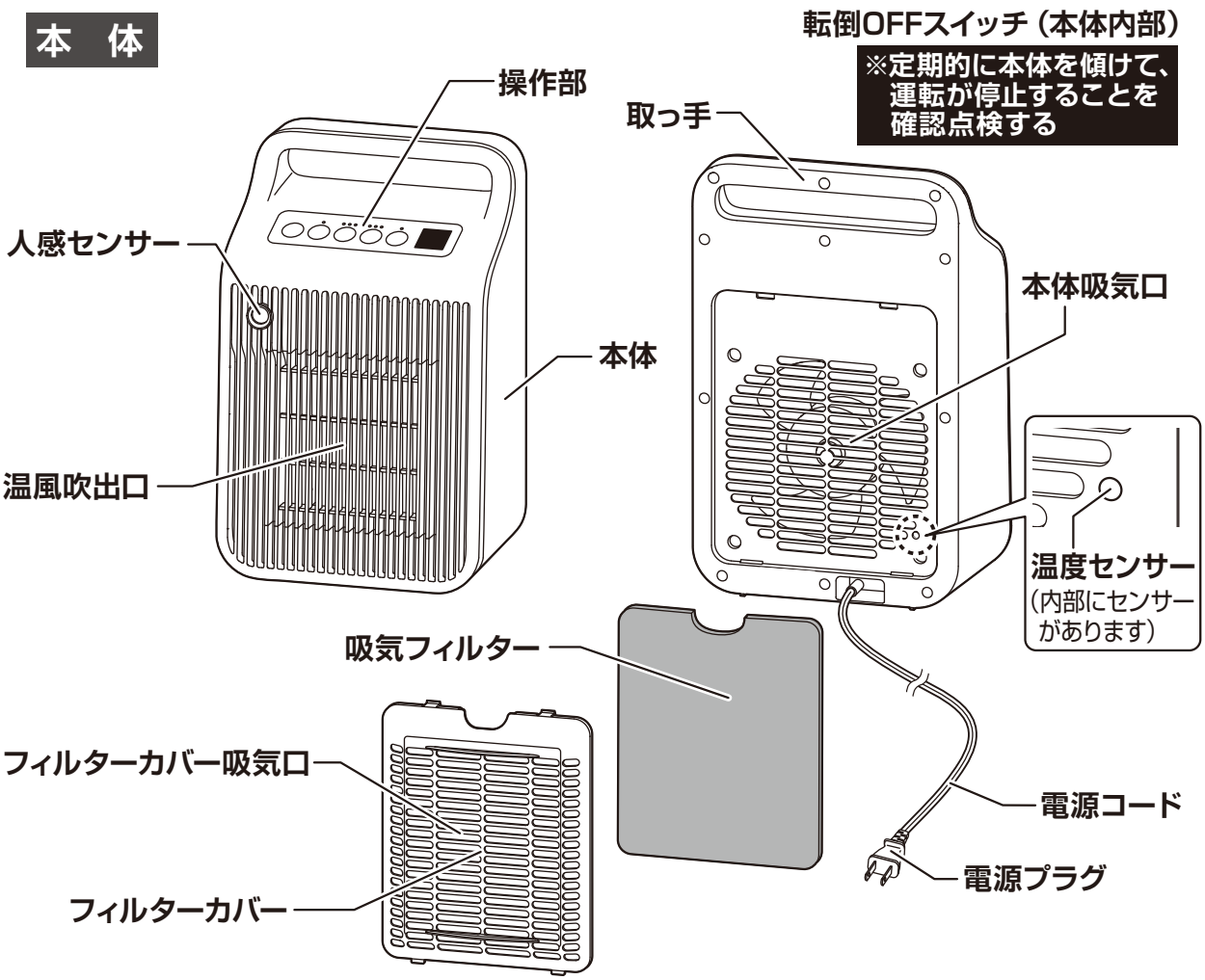
禁止

本体に腰かけたり、物をのせない

●破損・故障・けがの原因になります。

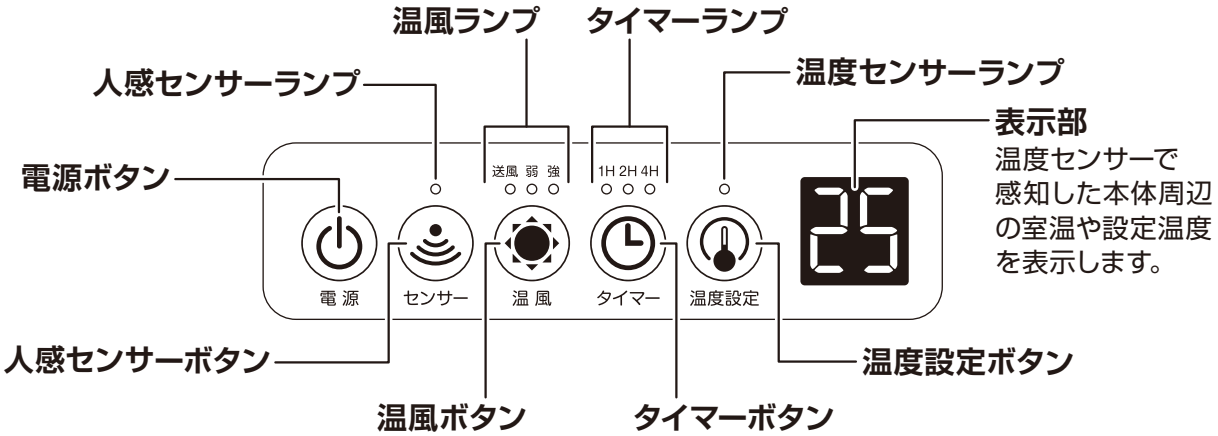
各部の名称

本　体



●本書は、イラストを用いて説明しています。実際の製品とは、多少異なることがあります。

操作部



知っておいていただきたいこと

においや煙について

●はじめて使用するときは、においや煙が出ることがありますが、故障や異常ではありません。
※においや煙は、使用にともない出なくなりますが、においや煙が出たときは換気扇を回したり、窓を開けて十分換気をおこなってください。

電源コードについて

●使用中電源コードが多少暖かくなることがありますが、支障ありません。

暖気運転について

電源を「ON」にしたり、センサー運転で待機状態から温風運転を再開する前は、ヒーターを暖めるため約5秒の暖気運転をおこないます。
（暖気運転後に温風運転を開始します）

●暖気運転中は、温風が出ません。

下記のときは暖気運転をおこないません

◎送風運転から、温風運転に切り換えたとき。
◎人感センサー運転で、温風設定を「送風」に設定しているとき。
◎冷却運転中に電源を「ON」にしたとき。
◎冷却運転中に人感センサー運転や温度センサー運転で、温風運転を再開するとき。

冷却運転について

電源を「OFF」にしたり、センサー運転で待機状態になる前は、ヒーターを冷やすため約30秒の冷却運転（送風）をおこないます。
（冷却運転後に電源「OFF」または待機状態になります）

●温風運転していたときのみ、冷却運転をおこないます。
ただし、温風運転から送風運転に切り換えてすぐに電源を「OFF」にしたときは、冷却運転の時間が短くなります。
（温風運転から送風運転に切り換えたあとの送風時間もヒーターの冷却に含まれるため、冷却運転の時間が30秒よりも短くなります）

下記のときは冷却運転をおこないません

◎送風運転を30秒以上おこなったとき。
◎センサー運転を設定しているときの待機中に、電源ボタンを押したとき。

室温表示や各ランプの減光について

●無操作状態が約15秒継続すると、表示部や各ランプが減光する仕様となっています。
減光中にいずれかのボタンを押すと、元の明るさにもどります。

使 い か た

設置する

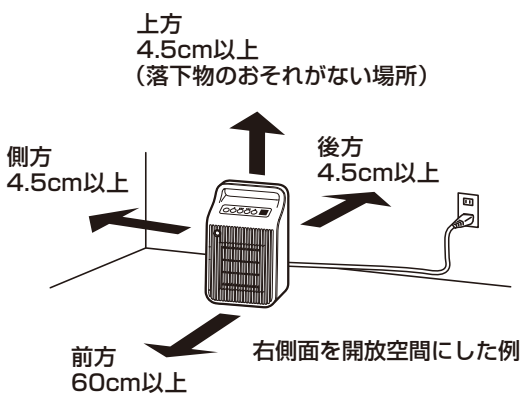
●温風運転したとき、温風の温度が適温に感じる距離になるように、本体を設置します。
●温風が熱いと感じるときは、本体を遠ざけて距離を調節します。
※設置するときは、下記の距離や場所に注意して設置してください。

下記の距離を離して設置します。

⚠警告

壁や家具から離して設置する
●火災の原因になります。
指示に従う

消防法による設置基準

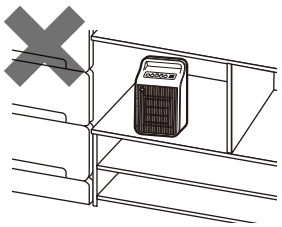


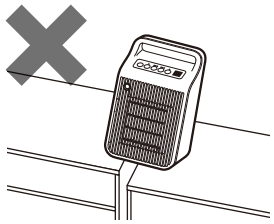
◎左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にする。

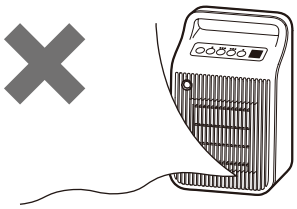
不安定な場所や毛足の長い敷物の上に設置しない
●落下や転倒して、やけど・火災の原因になります。
◎安定した水平な場所に設置する。
禁止

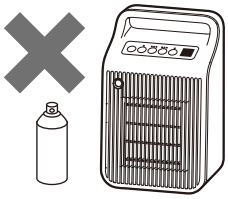
◎壁や家具に温風を直接あてない。
◎燃えやすい物や熱に弱い物に温風を直接あてない。

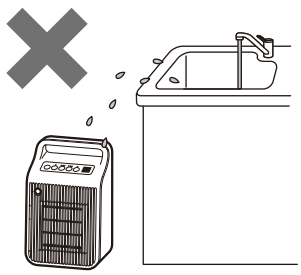
こんな場所には設置しない

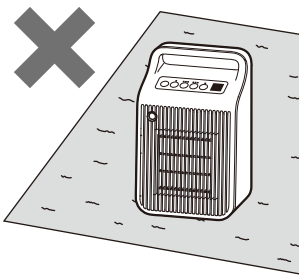

周囲が囲まれて風通しが悪い場所


不安定な場所


燃えやすい物（布団、カーテン、新聞紙など）が周辺にある場所


可燃性ガスや引火性の物がある場所やスプレー缶の近く

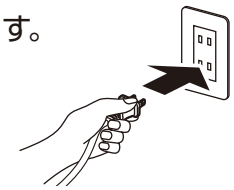

水、蒸気、湯気がかかる場所


毛足の長い敷物の上

使 い か た

電源プラグを家庭用コンセント（AC 100V）に差し込む

●電源プラグを家庭用コンセントに、根元まで確実に差し込みます。



⚠警 告

指示に従う

家庭用コンセント（AC 100V、定格15A以上）を単独で使用する

- ●家庭用コンセント（AC100V）以外で使用すると、誤作動・故障の原因になります。
- ●コンセントや配線器具の定格を超える使いかた（タコ足配線など）をすると、異常発熱・火災の原因になります。

必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす
電源プラグを真っ直ぐ差し込む

注 意

※洗面台や学習机のコンセントを利用して使用するときは、コンセントの定格が15A（1500W）以上あるか確認したうえで使用してください。
15A以下のコンセントで使用すると、コンセントが異常発熱して火災の原因になります。

火災の原因になるので、絶対に就寝中は使用しない

運転する　　連続運転



電源を「ON」にする

- ●電源ボタンを押します
- ●「ピッ」と音が鳴って電源が「ON」になり、表示部に現在室温を表示します。
- ●同時に暖気運転を約5秒おこないます。
- ●暖気運転が終わると、「弱」で温風運転を開始します。

暖気運転中

温風ランプ

弱

点滅

電源を「ON」にすると、「弱」が点滅して暖気運転を開始します。
暖気運転中に「強」に切り換えると、「強」が点滅します。

「弱」で温風運転中

温風ランプ

弱

点灯

暖気が終わり温風運転が開始されると、「弱」が点灯します。

運転する　つづき　　連続運転



電源を「OFF」にする

●運転中に電源ボタンを押します。

温風運転中に電源ボタンを押したときは

●「ピー」と音が鳴り、冷却運転を約30秒おこないます。
●冷却運転が終わると、電源が「OFF」になります。

冷却運転中

温風ランプ

送風

点滅

冷却運転中は、「送風」が点滅します。

温風運転から送風運転に切り換えてすぐに電源を「OFF」にしたときは、温風運転から送風運転に切り換えたあとの送風時間もヒーターの冷却に含まれるため、冷却運転の時間が短くなります。

送風運転を30秒以上おこなったときは、冷却運転をおこないません。

送風運転中に電源ボタンを押したときは

●「ピー」と音が鳴り、電源が「OFF」になります。

お知らせ

●冷却運転中は、電源ボタン以外の操作を受けつけません。
●冷却運転中に電源ボタンを押すと、「弱」で温風運転を再開します。

温度表示について

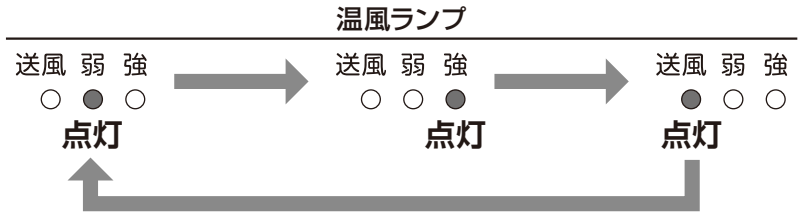
●室温表示は、本体に内蔵されている温度センサーが、本体周辺の室温を感知して表示しています。
お部屋全体の室温を感知しているものではありませんので、室温表示とお部屋の温度計の表示が異なることがあります。
●電源を「OFF」にして本体内部が冷える前に再度電源を入れ直すと、少しの間室温表示が高めに表示されることがあります。
●本体にエアコンの風があたったり、近くに熱源があると、室温表示が正常に表示されないことがあります。

使 い か た

運転を切り換える



- 運転中に温風ボタンを押します。
- ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、下記のとおり温風や送風が順送りでかわります。
- 温風ランプを見ながら設定します。



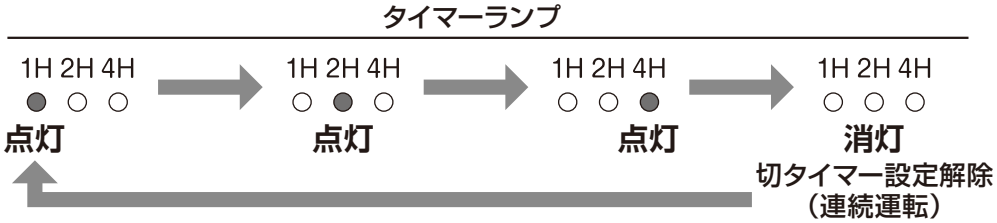
お知らせ

- 「弱」と「強」の切り換えは、ヒーターの発熱量（発熱範囲）を切り換えて吹き出す温風の温度をかえており、吹き出す温風の強さはかわりません。
- 「弱」は、ヒーターの発熱していない部分も風が通過するので、温風吹出口付近では吹き出す温風が部分的に冷たく感じることがあります。

切タイマーを設定する　■ 設定時間経過後に電源が「OFF」になります



- 運転中にタイマーボタンを押します。
- ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、下記のとおりタイマー時間が順送りでかわります。
- タイマーランプを見ながら設定します。



- 時間が経過すると、「4H」→「2H」→「1H」とタイマーランプがかわり、運転停止までの残り時間を表示します。
- 温風設定は、「弱」、「強」、「送風」のいずれかに設定できます。
- 「人感センサー運転」または「温度センサー運転」のどちらかを、切タイマーと同時に設定することができます。

5時間自動OFFタイマーについて（切り忘れ防止機能）

安全のため、無操作状態で 約5時間 運転すると切り忘れ防止機能が働いて、自動的に運転を停止します。

※運転が停止したあと再度運転するときは、電源ボタンを押してください。

- 途中でボタン操作をすると、自動OFFタイマーがリセットされ、操作した時点から約5時間運転すると、自動的に運転を停止します。
- 切タイマー設定時は、設定した時間で運転を停止します。
- 人感センサー運転や温度センサー運転の設定中は、自動OFFタイマーは働きません。

人感センサー運転を設定する　自動運転

人感センサー運転を設定すると人の動きを感知して、自動で運転や停止をおこないます。

人感センサー運転の動作内容

■ 人の動きを1分以上感知しないと、自動で待機状態になります。
■ 待機中に人の動きを感知すると、自動で運転を再開します。



- 運転中に人感センサーボタンを押します。
- 「ピッ」と音が鳴り、人感センサー運転が設定されます。
- ボタンを押すごとに、人感センサー運転が設定 / 解除されます。

人感センサー運転設定

人感センサーランプ

●

点灯

人感センサー運転を設定すると、人感センサーランプが点灯します。

人感センサー運転解除

人感センサーランプ

○

消灯

人感センサー運転を解除すると、人感センサーランプが消灯します。

- 温風設定は、「弱」、「強」、「送風」のいずれかで設定できます。
- 切タイマーを同時に設定することができます。

人の動きを感知しないときは

- 温風設定を「弱」または「強」に設定したときは、冷却運転をおこなってから待機状態になります。

例：温風設定を「弱」に設定したとき

冷却運転中

温風ランプ

送風 ○

点滅

冷却運転中は、「送風」が点滅します。

待機状態

温風ランプ

弱 ●

点灯

待機中は、「弱」が点灯します。

人の動きを感知したときは

- 温風設定を「弱」または「強」に設定したときは、暖気運転をおこなってから、温風運転を開始します。

例：温風設定を「弱」に設定したとき

暖気運転中

温風ランプ

弱 ○

点滅

暖気運転中は、「弱」が点滅します。

温風運転中

温風ランプ

弱 ●

点灯

温風運転中は、「弱」が点灯します。

- 冷却運転中は、温風ランプ「送風」が点滅します。
- 暖気運転中は、設定中の「弱」または「強」どちらかの温風ランプが点滅します。
- 温風設定を「送風」で設定したときは、運転停止や運転再開するとき、冷却運転や暖気運転をおこないません。

人感センサー運転を設定する　つづき　　自動運転

お知らせ

●人感センサー運転中に電源ボタンを押すと

▌温風運転中に押したとき

「ピー」と音が鳴り、冷却運転をおこなってから、電源が「OFF」になります。

▌送風運転中または待機中に押したとき

「ピー」と音が鳴り、電源が「OFF」になります。（冷却運転をおこないません）

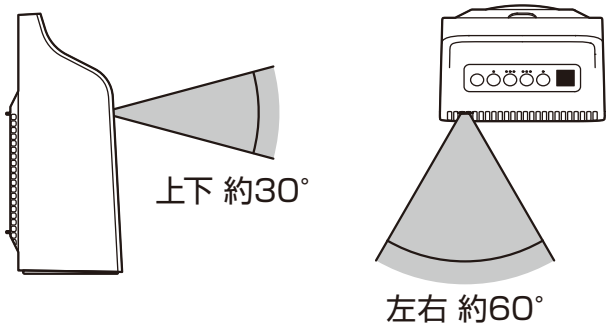
●人感センサー運転と温度センサー運転は、同時に設定できません。

●冷却運転中や待機中にセンサーに感知されない状態（本体の背後から操作するなど）でボタン操作をすると、人の動きを感知したとみなし運転を再開します。

感知範囲について

●本体を設置するときは、人の動きが下図の人感センサー感知範囲内に入るように設置します。

●人の動きが止まると、人感センサーは感知しません。
再度感知範囲内で人が動くと感知します。



感知距離は約2m以内です

●2m以上離れたところで人が動いても、感知することがあります。

感知のしかたについて

人感センサーは、人の動きを温度の移動や変化で感知しているため、動物の移動、温風のゆらぎ、温度変化を感知してしまうことがあります。

下記の状況でも感知してしまうことがあります

◎カーテンや植物などが風でゆれて、日がさしたり、影になったとき。
◎直射日光が人感センサーに直接あたっているとき。
◎エアコンを使用していたり、熱を出す器具（他の暖房器具など）が近くにあるなど、室温にムラがあるとき。

次のようなときは人感センサーが感知しないことがあります

◎衣類を着込むなどで体温が外に発散されないとき。
◎人感センサーに向かって直進したとき。
◎動きがない、動きが小さい、動きが極端にゆっくり、動きが極端に速いとき。

※感知しないときは、上記のような状況がないか確認し、人感センサーが感知するように着込んでいる衣類を減らしたり、動きを大きくしてください。

温度センサー運転を設定する　自動運転

温度センサー運転を設定すると室温に応じて、自動で運転や停止をおこないます。

温度センサー運転の動作内容

■ 設定した温度より感知した室温が3℃以上高くなると、自動で待機状態になります。
それ以外の室温のときは、設定した温度を基準にヒーターの「弱」、「強」を自動で切り換えて温風運転します。



●運転中に温度設定ボタンを押します。
●「ピッ」と音が鳴り、温度センサー運転が設定されます。
（温度センサー運転が設定されると、温風ランプが消灯します）

温度センサー運転設定

温度センサーランプ

●

点灯

温度センサー運転を設定すると、温度センサーランプが点灯します。

温度センサー運転解除

温度センサーランプ

○

消灯

温度センサー運転を解除すると、温度センサーランプが消灯します。

●同時に表示部にプリセットされた温度を点滅表示します。
●あらかじめ5種類の温度がプリセットされており、ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、下記のとおり温度が順送りでかわります。
●表示部を見ながら選択します。

16 → 19 → 22 → 25 → 28 → **温度設定解除**
（温度）　**（室温表示にもどり「弱」で運転）**

●お好みの温度を選択して3回点滅すると、温度が決定されて温度センサー運転が設定されます。
●温度センサー運転が設定されたあとは、表示部が現在室温表示にかわります。

例：温度設定を28℃に設定するとき

28℃を選択

表示部

28

3回点滅

28℃を選択して3回点滅させます。

28℃で決定

表示部

28

点灯

点滅が点灯にかわり温度が決定されます。

温度決定後

表示部

23

点灯

温度決定後は、現在室温を表示します。
（現在室温が23℃のとき）

温度センサー運転を設定する　つづき　　自動運転

●温度センサー運転中は、ヒーターの「弱」、「強」を自動で切り換えます。
　温度センサー運転中に温風ボタンを押すと、温度センサー運転が解除されます。
●切タイマーを同時に設定することができます。
●運転停止や運転再開するとき、冷却運転や暖気運転をおこないます。
●冷却運転中は、温風ランプ「送風」が点滅します。
●暖気運転中は、温風ランプ「弱」が点滅します。

設定した温度を確認したり、変更したいときは

●温度センサー運転中に温度設定ボタンを押すと、設定されている温度を表示部に3回点滅表示して、確認することができます。
●点滅表示された状態でさらに温度設定ボタンを押すと、設定温度を変更したり、解除することができます。

温度確認中

表示部



3回点滅

例えば28℃に設定したときは、ボタンを押すと「28」が点滅します。

温度センサー運転中に温度設定ボタンを押すと

1回押す：設定した温度を確認できます。
2回押す：設定温度を変更できます。

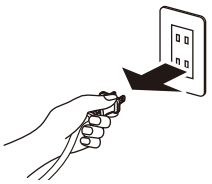
●温度設定ボタンを1回押して、表示部が3回点滅している間にもう一度押すと、設定温度を変更できます。

お知らせ

●温度センサー運転中に電源ボタンを押すと
　▌温風運転中に押したとき
　「ピー」と音が鳴り、冷却運転をおこなってから、電源が「OFF」になります。
　▌待機中に押したとき
　「ピー」と音が鳴り、電源が「OFF」になります。（冷却運転をおこないません）
●温度センサー運転と人感センサー運転は、同時に設定できません。

使用後は

●電源ボタンを押して電源が「OFF」になってから、電源プラグをコンセントから抜きます。
　※電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持ってください。
●温風吹出口が十分冷めてから、16～18ページの「お手入れと保管」に従ってお手入れをします。
　※使用後しばらくは、温風吹出口が高温になっていますので、十分冷めてからお手入れをおこなってください。



冷却運転が終わり、すべての表示が消灯してから電源プラグをコンセントから真っ直ぐ抜く

エラー表示と安全装置について

温度センサーのエラー表示について




■温度センサーが故障すると、表示部に「E1」または「E2」が表示され、電源が入らなくなります。（運転ができなくなります）

※「E1」または「E2」が表示されたときは、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

転倒OFFスイッチ（安全装置）のエラー表示について



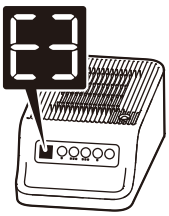
■ 本体が転倒したときの安全装置として、転倒OFFスイッチが付いています。

- 転倒OFFスイッチが働くと、運転が停止して表示部に「E3」が表示されます。
- 本体を正しく立てると「ピッ」と音が鳴り、「E3」が消灯して運転が再開できるようになります。
- 運転を再開するときは、電源ボタンを押します。

お願い

※定期的に本体を傾けて、運転が停止することを確認点検してください。（転倒OFFスイッチの動作確認）

電源が「OFF」のときでも、電源プラグがコンセントに差し込まれている状態で本体が転倒すると、転倒OFFスイッチが働いて「E3」を表示します。



異常温度感知（安全装置）のエラー表示について



■ 温度センサーが異常温度を感知すると、安全のため運転を停止します。

- 感知した室温が50℃以上になると、運転が停止して表示部に「E4」が表示されます。
- 感知した室温が49℃以下になると、「E4」が消灯して運転が再開できるようになりますが、本体を十分冷ましてから運転を再開します。
- 運転を再開するときは、電源ボタンを押します。

温度過昇防止装置（安全装置）について

■ 温風吹出口周辺の温度が異常に高くなると、安全のため温度過昇防止装置が働き、全ての通電を遮断します。

温度過昇防止装置が働く主な原因

◎他の暖房器具を近くで使用している。　◎周囲が囲まれた場所で使用している。
◎フィルターカバー、吸気口、温風吹出口がふさがれている。
◎吸気フィルターがホコリで目詰まりしている。

- 温度過昇防止装置が働いたときは、電源プラグを抜き本体を十分冷ましてから、上記のような原因がないか点検し、対処してから運転を再開します。
  対処しないでそのまま使用すると、故障の原因になります。
  ※故障したときは、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- 運転を再開するときは、電源ボタンを押します。

お手入れと保管

※吸気フィルターや吸気口がホコリで目詰まりすると、暖房性能低下や火災の原因になります。
こまめにフィルターカバーを取り外し、お手入れをしてください。
※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

⚠警告

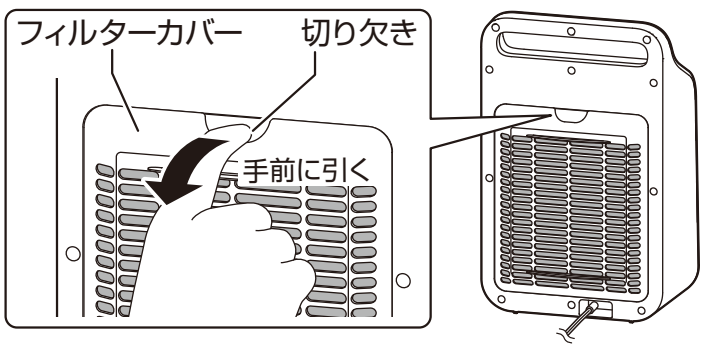
プラグを抜く **お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●やけど・ショート・感電の原因になります。	指示に従う **お手入れのときは、温風吹出口が十分冷めてからおこなう** ●やけどの原因になります。

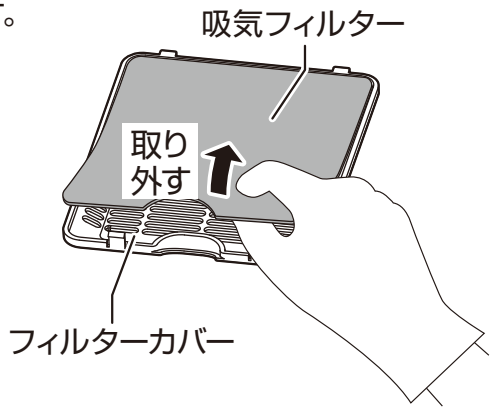
必ずお守りください

※フィルターカバーや吸気フィルターを取り外すときやお手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、十分冷めてからおこなってください。

フィルターカバー、吸気フィルターの取り外しかた

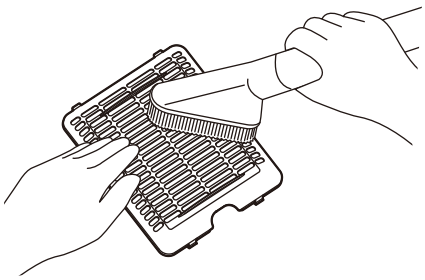
●フィルターカバーの切り欠きに指をかけ、手前に引いてフィルターカバーを取り外します。
●吸気フィルターをフィルターカバーから取り外します。

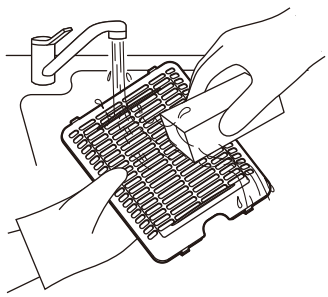




フィルターカバー（1週間に1回程度）　丸洗いできます

●掃除機のソフトブラシで、ホコリを吸い取ります。
●乾いたやわらかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
●落ちにくいホコリや汚れは、食器用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて、水洗いします。
●洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。





お手入れと保管

吸気フィルター（1週間に1回程度）　丸洗いできます

●吸気フィルターをよくはたいてホコリを落としたり、掃除機のソフトブラシでホコリを吸い取ります。
※掃除機を使用するときは、吸気フィルターが吸い込まれないように注意してください。
●落ちにくいホコリや汚れは、ボウルに水またはぬるま湯（40℃以下）と食器用中性洗剤を少量入れ、吸気フィルターを浸して軽くもみ洗いします。
●洗剤が残らないように水で洗い流して、キッチンペーパーや乾いたふきんで水分を吸収させ、よく乾燥させます。





⚠警告

指示に従う

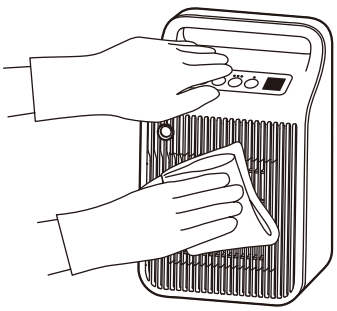
吸気フィルターのお手入れは、定期的におこなう
●故障・火災の原因になります。
◎お手入れをおこなわずに使用をつづけると、吸気フィルターに付着したホコリが内部に吸い込まれ、火災の原因になるため1週間に1回程度は、お手入れをする。

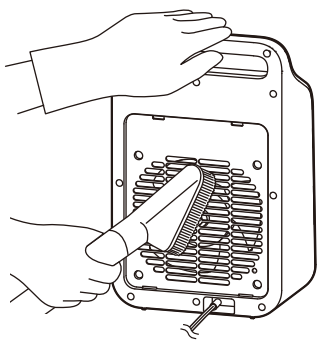
注 意

※吸気フィルターを引っ張ったり、強くもんだり、乱暴に洗わないでください。
のびたり、やぶれる原因になります。

本体、本体吸気口（本体吸気口は1週間に1回程度）　丸洗いできません

●掃除機のソフトブラシで、ホコリを吸い取ります。
●乾いたやわらかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
●落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。
さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。





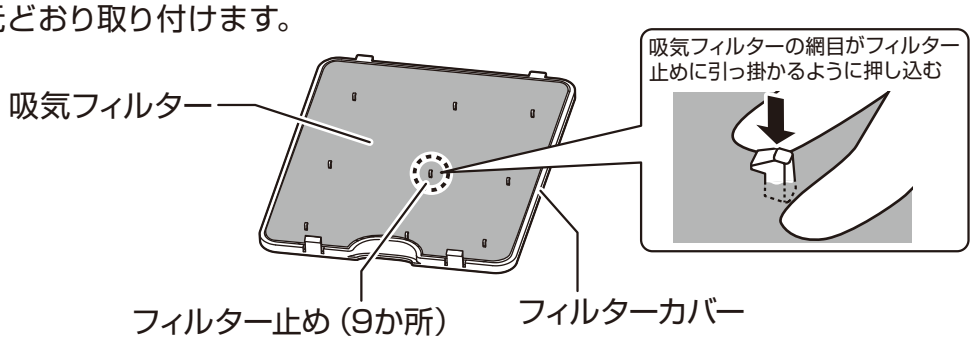
お知らせ

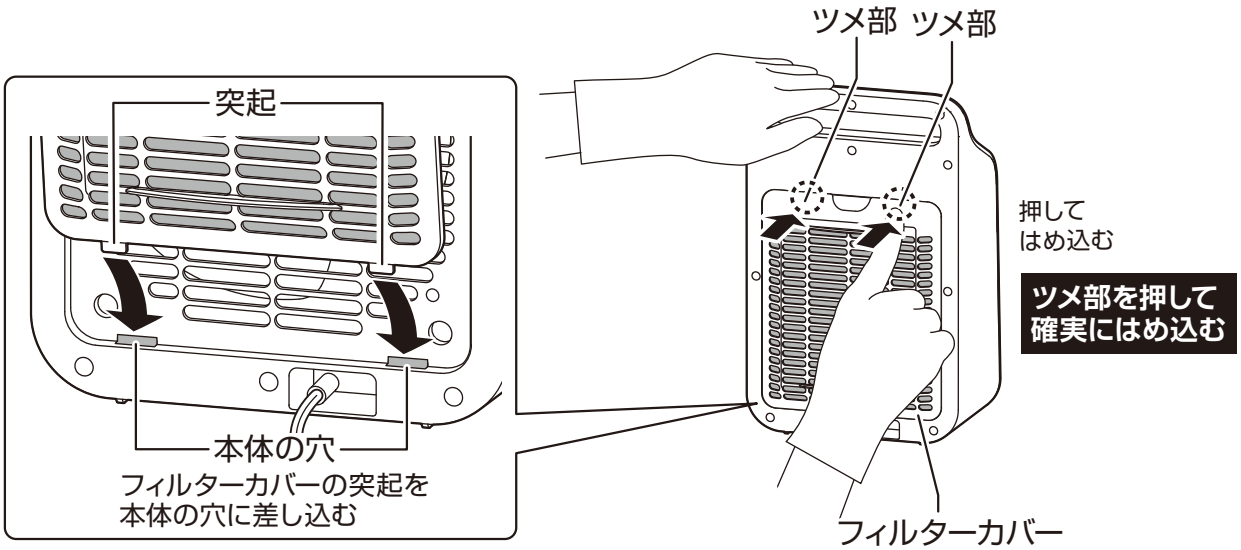
●長期間の使用により、温風吹出口周辺の色が変色することがありますが、性能や安全性に問題はありません。

お手入れと保管

吸気フィルター、フィルターカバーの取り付けかた

●吸気フィルターをフィルターカバーの内側に取り付けます。
取り付けるときは、吸気フィルターの網目がフィルター止めに引っ掛かるように、吸気フィルターを押し込みます。
●フィルターカバーの突起を本体の穴に差し込み、フィルターカバーのツメ部を押して元どおり取り付けます。





注 意

※お手入れ後は、必ず吸気フィルターとフィルターカバーを元どおりに取り付けてください。

保　管

●保管の前は、必ずお手入れをします。
●お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。
（湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります）

注 意

※電源コードの根元を曲げたり、本体に巻きつけたり、電源コードや電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。
異常発熱・ショート・火災の原因になります。

仕　様

電　　源	AC 100V （50-60Hz共用）
消 費 電 力	1200W
製品寸法(約)	幅：200mm×奥行：140mm×高さ：315mm
製品質量(約)	2.0kg
コード長(約)	1.6m
安全装置	転倒OFFスイッチ、電流ヒューズ
	温度ヒューズ、サーモスタット （温度過昇防止装置）

●製品の仕様や外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

■ 電気代について

送風運転時（16W）：1時間あたり 1円未満
弱運転時（600W）：1時間あたり 約18.6円
強運転時（1200W）：1時間あたり 約37.2円
（電気代は、電気料金目安単価 31円/kWhを基に算出しています）

故障かな?と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症　状	原　因	処置 または お知らせ
電源が入らない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	●電源プラグを家庭用コンセントに、根元まで確実に差し込んでください。
温風の出かたが少ない	●吸気口や吸気フィルターがホコリで目詰まりしていませんか？	●「お手入れと保管」を参照して、お手入れをしてください。
温風が出ない	●温風ランプ「弱」が点滅していませんか？	●温風運転を開始する前に、ヒーターを暖めるため約5秒の暖気運転をおこないます。 暖気運転中は、温風が出ません。 ヒーターの暖気運転が終わると、温風運転を開始します。
「弱」や「強」に切り換えても温風の強さがかわらない	――――――	●「弱」と「強」の切り換えは、ヒーターの発熱量（発熱範囲）を切り換えて吹き出す温風の温度をかえており、吹き出す温風の強さはかわりません。
「弱」にすると部分的に冷たい風が出る	――――――	●「弱」は、ヒーターの発熱していない部分も風が通過するので、温風吹出口付近では吹き出す温風が部分的に冷たく感じることがあります。

故障かな?と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症　状	原　因	処置 または お知らせ
人感センサーが感知しない	●人感センサーの感知範囲を超えていませんか?	●人感センサーの感知範囲内に入るように本体を設置してください。
	●衣類を着込んでいたり、人感センサーが感知できない動きかたをしていませんか?	●人感センサーが感知するように着込んでいる衣類を減らしたり、動きを大きくしてください。
人感センサーが誤感知する	●カーテンや植物などが風でゆれて、日がさしたり、影になるなど、人感センサーが誤感知する状況で使用していませんか?	●「人感センサー運転を設定する　感知のしかたについて」を参照して、人感センサーが誤感知する状況で使用していないか確認し、対処（設置場所をかえるなど）してから使用してください。
電源が切れない	●送風ランプが点滅していませんか?	●電源を「OFF」にする前は、ヒーターを冷やすため約30秒の冷却運転（送風）をおこないます。 冷却運転後に電源が「OFF」になります。
表示部に「E1」～「E4」のエラーが表示される	●「E1」または「E2」が表示されたときは、温度センサーが故障しています。	●使用を中止してお買い上げの販売店に、修理を依頼してください。
	●「E3」が表示されたときは、転倒OFFスイッチが働いています。	●本体を正しく立てると、運転が再開できるようになります。 運転を再開するときは、電源ボタンを押します。
	●「E4」が表示されたときは、温度センサーが異常温度（50℃以上）を感知しています。	●感知した室温が49℃以下になると、運転が再開できるようになりますが、本体を十分冷ましてから、運転を再開します。 運転を再開するときは、電源ボタンを押します。
温風運転が停止する	●他の暖房器具を近くで使用していたり、周囲が囲まれた場所で使用していたり、フィルターカバー、吸気口、温風吹出口がふさがれていたり、吸気フィルターがホコリで目詰まりして、温度過昇防止装置が働いていませんか?	●電源プラグを抜き本体を十分冷ましてから、左記のような原因がないか点検し、対処してから運転を再開します。 対処しないでそのまま使用すると、故障の原因になります。 故障したときは、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。 運転を再開するときは、電源ボタンを押します。

点検のお願い

**安全に長く愛用していただくために
日頃から点検をおこなってください。**

★こんな症状はありませんか？

- ●電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ●電源コードや電源プラグに深い傷や被覆破れがある。
- ●電源プラグが変形している。
- ●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- ●変形や破損している。
- ●異常な音がする。
- ●製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- ●製品が異常に熱かったり、こげ臭いなどの異臭がする。
- ●その他の故障・異常・破損がある。

★異常があれば

使用中止 !!

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検や修理を依頼してください。

●電源プラグやコンセントにホコリやごみが付着している。	ホコリやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

●本製品は、保証書が付いています。
お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入を受けてください。

●保証期間は、お買い上げ日より1年です。
保証期間中の修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。
保証書の記載内容により、修理いたします。
その他詳細は、保証書を参照してください。

●保証期間経過後の修理（有料）については、お買い上げの販売店に、依頼してください。

●本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために、必要な部品です。

●サービスパーツについて
吸気フィルターなどのサービスパーツについては、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取り扱いや、お手入れ方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の依頼ができない場合は、右記へお問い合わせください。

「山善　家電お客様サービス係」
ナビダイヤル **0570-077-078**
※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。
受付時間：10：00～17：00（土、日、祝日を除く）

FAXまたはEメールでのお問い合わせも受け付けています。
その際は、製品名、品番、お問い合わせ内容、お名前、電話番号を記入のうえ、お問い合わせください。

●FAXでのお問い合わせは フリーダイヤル **0120-680-287**

●Eメールでのお問い合わせは **info_m@yamazen.co.jp**

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。

個人情報の取り扱いについて
株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を、お問い合わせへの対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

MEMO